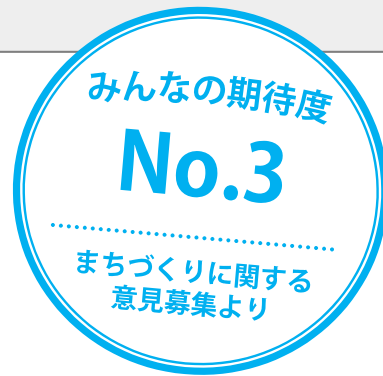


1

駅前空間 大規模店舗 魅力向上プロジェクト

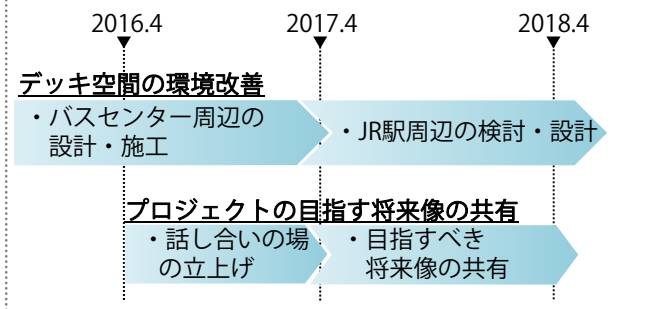


これからも市内外から多くの人に足を運んでもらうため、大規模店舗の魅力向上や印象的な駅前空間づくりを進めることで、町田駅前の持つ魅力の維持と向上を図ります。

プロジェクトの対象範囲



プロジェクトの当面の主な取り組み



プロジェクトのイメージ



大規模店舗の魅力向上

+



印象的な駅前空間づくり



町田駅前の
魅力の
維持と向上

プロジェクトの効果

駅からまちなかに出やすくなり、
ゆっくり待ち合わせできる
印象的な駅前空間になる

→ 目指すこと **01** 駅が快適・便利

充実した駅前店舗で様々なものが手に入り、
また来たくなる

→ 目指すこと **02** まちに行く目的がたくさんある

みんなの声

- ・ 緑を感じる場所がほしい
- ・ 美しい街並みや景観になってほしい

プロジェクトの目指す将来像

多くの人で賑わい他都市と差別化された印象的な風景を持つ駅前空間

大規模店舗とデッキ等の公共施設で構成される現在の駅前空間の魅力をより一層向上させることで、多くの人で賑わい、他都市と差別化された印象的な風景を持つ駅前空間を目指します。



1 空と緑を感じる印象的な駅前景観

(大岡山駅)



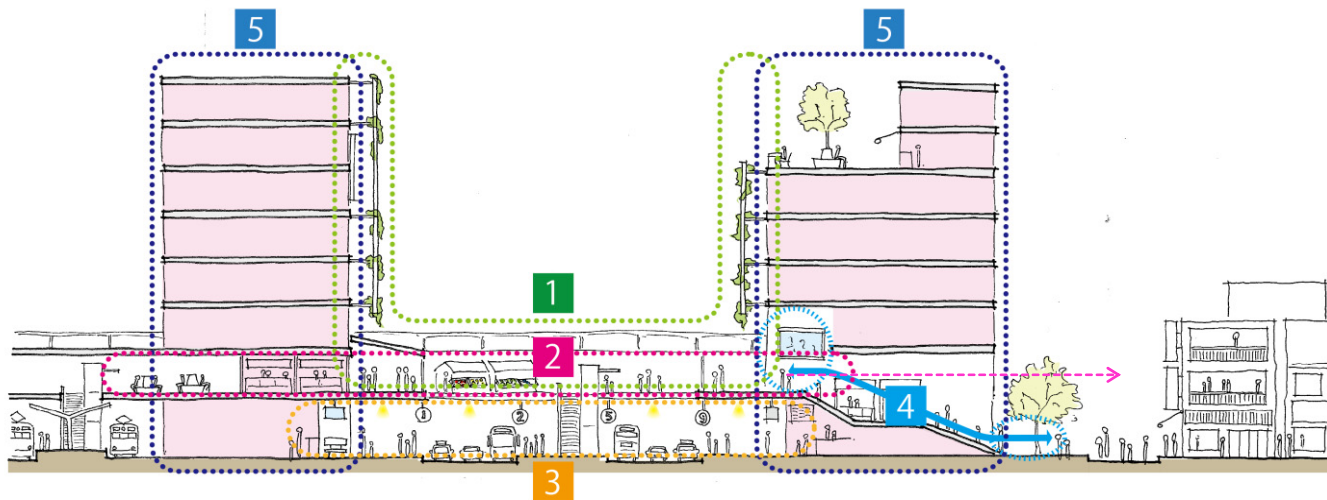
2 待合空間が充実し賑わいのあるデッキ空間

(大泉学園駅)



2 魅力的なまちの風景が見えるデッキ空間

(姫路駅からの風景)



3 明るくゆとりのあるデッキ下

(2k540 AKI-OKA ARTISAN)



4 まちなかに出やすく賑わいのある動線

(新宿モザイクモール)



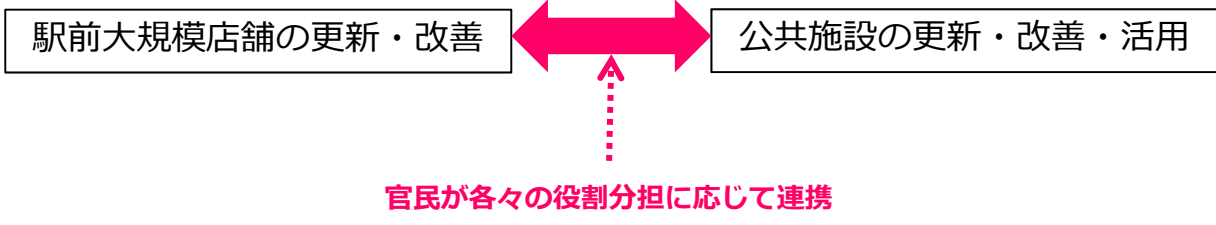
5 多彩で魅力的な店舗

左上：デッキ上店舗／マルイ町田
 右上：新業態店舗／有隣堂トレアージュ白旗店
 左下：テイクアウトショップ／Coffee.Jr.MACHIDA
 右下：マルシェ[※]／柏の葉[※]

※写真提供：柏の葉アーバンデザインセンター[UDCK]

プロジェクトの取り組み

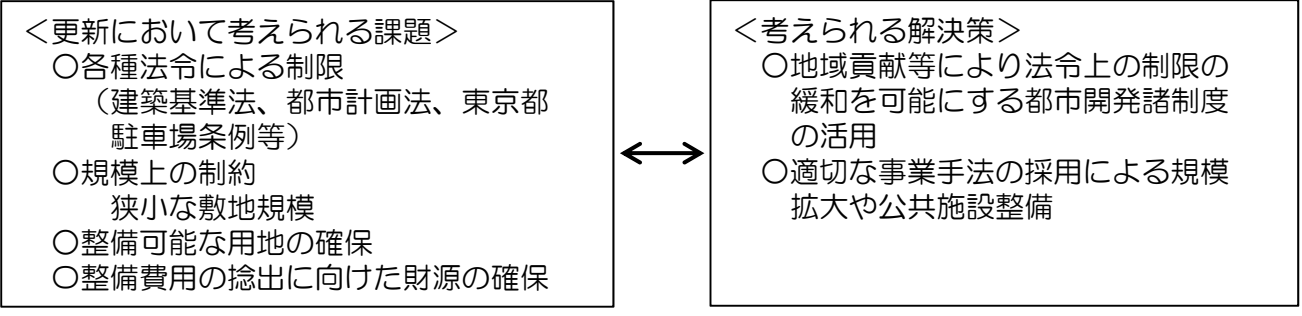
将来像の実現を目指して、官民が各々の役割分担に応じて連携しながら、駅前大規模店舗の更新・改善と公共施設の更新・改善・活用を進めます。



駅前大規模店舗の更新・改善

駅前大規模店舗の更新時に将来像の実現を目指した工夫を行うために、更新にあたっての課題解決の方策を検討します。

●更新にあたっての課題解決の方策検討



●更新時の工夫 (例)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○緑を感じる施設計画 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した外観のデザイン ○デッキ沿いの賑わいづくり <ul style="list-style-type: none"> ・デッキ沿いへの店舗の配置 ・デッキと連続したエントランス*²空間の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ○地上とデッキの円滑な接続 <ul style="list-style-type: none"> ・賑わいある施設内動線の確保
(バリアフリー、エスカレーター等の設置、
雨に濡れない工夫) ○新業態店舗の導入 |
|--|---|

公共施設の更新・改善・活用

官民で連携しながら大規模店舗等と隣接する公共施設の更新・改善・活用を行います。

●更新時の工夫 (例)

- デッキ下空間の暗いイメージの改善
- 舗装、施設等のデザイン統一
- 緑を感じる充実した待合空間の創出

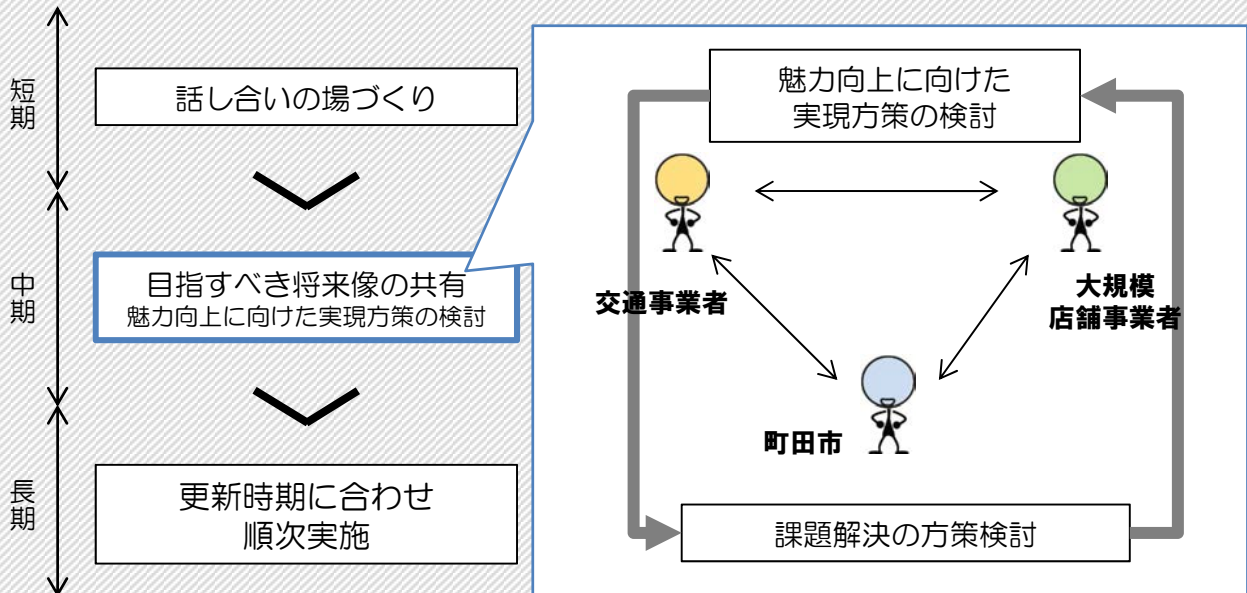
●デッキ空間の活用 (例)

- 官民連携による賑わいの創出
- マルシェ*¹の開催

プロジェクトの進め方

“プロジェクトの進め方”

- 町田市が大規模店舗事業者・交通事業者との話し合いの場を作り、目指すべき将来像を共有する
- 各施設の所有者等が更新時期に合わせて併せて順次実現する



“プロジェクトの担い手”

★：期待する担い手

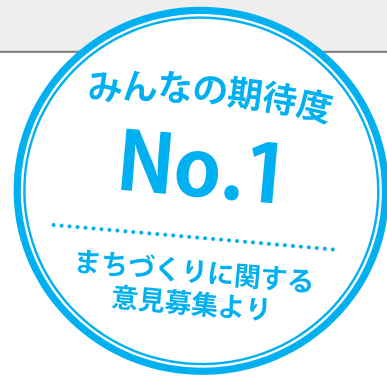
- 【取り組み主体】 大規模店舗事業者 町田市
開発事業施行主体★ 公共空間活用マネジメント組織★
- 【関係者】 交通事業者 施設・植栽等維持活動団体★ 商業者等★
- 【町田市関係部署】 都市づくり部 経済観光部 建設部

用語解説

- *①マルシェ：ここでは、テント等を使った仮設の直売所のこと。
- *②エントランス：建物の入口部分のこと。

2

個性と魅力あふれる 商店街 づくりプロジェクト



幅広い（地域、年齢層、趣味）人たちに
まちなかで長い時間を過ごしてもらうため
に、商店街が持つ個性や魅力の維持・向上
を図り、「町田らしい商店街」をつくりま
す。

プロジェクトの対象範囲



プロジェクトの当面の主な取り組み

- | 2016.4 | 2017.4 | 2018.4 |
|-----------------------------------|--------|--------|
| ・地区計画、セットバック*①空間の活用ルール運用に向けた検討・調整 | | |
| ・荷捌きスペースの検討・確保 | | |
| ・駐車場の隔地*②ルール運用に向けた調整 | | |

プロジェクトのイメージ



町田特有の雰囲気ある商店街



個性的な店舗



個性や魅力
を活かした
商店街づくり

プロジェクトの効果

個性的な店舗が増え、日常の買物だけで
なく、楽しみや発見がある商店街になる

→ 目指すこと **02** まちに行く目的が
たくさんある

憩いの広場や様々な過ごし方ができるお
店、休憩できるカフェなどが増え、
商店街で過ごす時間が増える

→ 目指すこと **03** まちの魅力が向上し、
ゆっくり過ごせる

商店街の中にギャラリーやイベントが増
え、様々な情報や文化に出会える

→ 目指すこと **04** 多くの出会い・活動
が生まれる

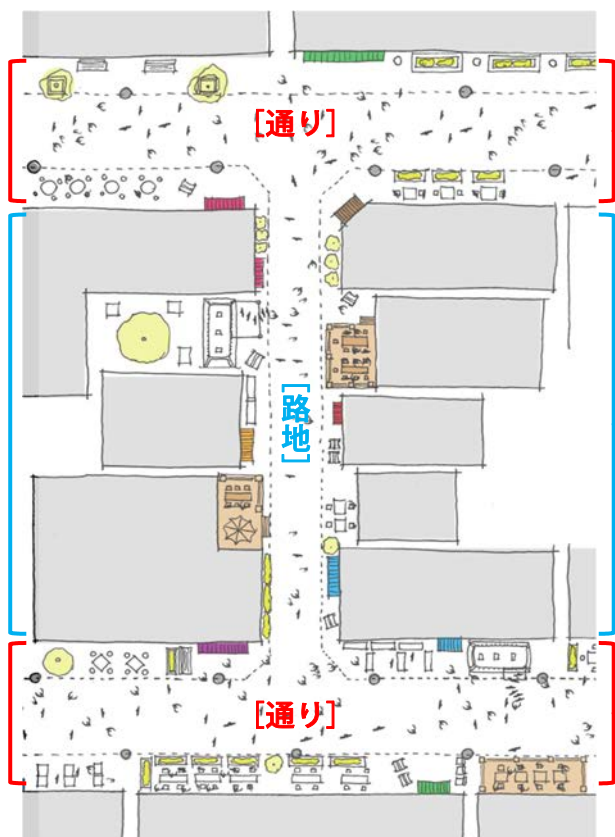
歩きやすく、緑が多い通りが増え、
商店街の人通りが増える

→ 目指すこと **06** 通りが快適で
歩いて楽しい

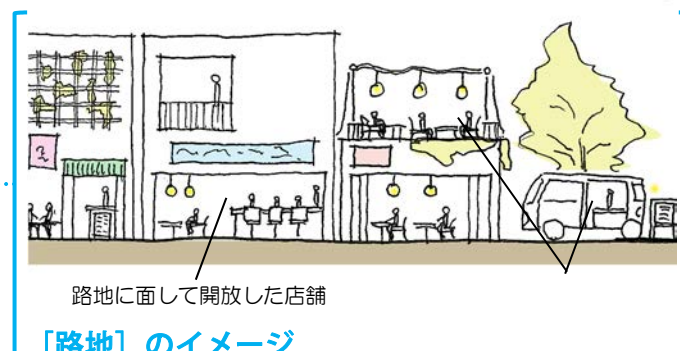
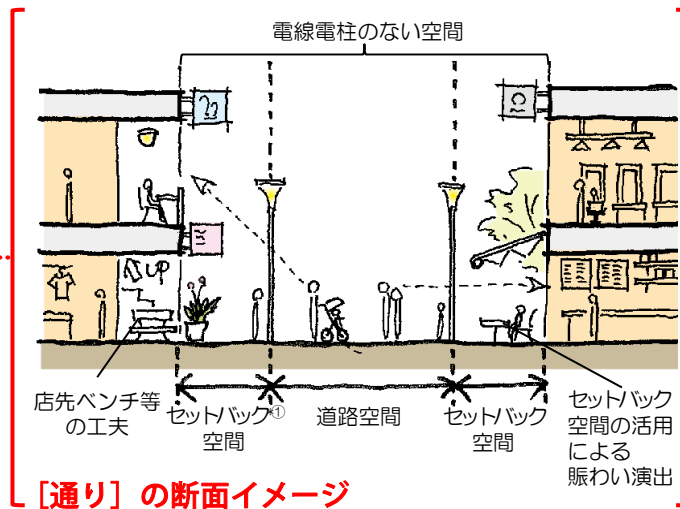
プロジェクトの目指す将来像

町田らしい「個性」「魅力」にあふれる商店街

通りや路地の特徴を活かしつつ、それらが一体となった個性と魅力ある商店街を目指します。



通りと路地など様々な特徴を持つ商店街



みんなの声

- ・ 個性なお店があって楽しい
- ・ ぶらぶら歩きの楽しい

“個性的”な店舗の充実



みんなの声

- ・ 緑や憩いの空間などがあり、快適に過ごしたい
- ・ 休憩できる空間がほしい

賑わいある“魅力的”な空間

- ・ いろいろな過ごし方ができる店舗 (活動やおしゃべりができるカフェやテラス)
- ・ なんでも揃う[通り]と雰囲気ある店舗が集まった[路地]の共存
- ・ 個性でおしゃれなものが手に入る店舗
- ・ 多種多様な店舗が並ぶ商店街

- ・ 低層階の店舗利用等によるぎわいの連続性
- ・ 店先の広場・ベンチなどの工夫によるゆっくり過ごせる空間
- ・ 店内外まで賑わいが溢れ出す空間
- ・ 憩いの空間 (緑の増加等)
- ・ 町田らしい商店街の景観



商店街にある個性ある路地の例



憩いの空間の例 / ぽっぽ町田広場

2 個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト

／ みんなの声 ／

・整備された歩行空間で、快適に歩きたい

プロジェクトの取り組み

中心市街地の商店街の持つ個性や魅力の維持・向上により、楽しく回遊できる「町田らしい商店街」を実現します。

／ みんなの声 ／

・障害物を気にすることなく、歩きたい

商店街の個性や魅力ある雰囲気維持

まちづくりルールによる建築物の用途の誘導やセットバック空間活用の推進、無電柱化等の公共施設整備により、商店街の魅力ある雰囲気を維持します。

- 地区計画や特別用途地区等のまちづくりルールによる誘導
- セットバック*①空間の活用ルール化
- 無電柱化

<取り組みのアイデア>

個性的な店舗づくり

テナントミックス*③事業や出店支援に併せ、店づくり講座の開催や路地を活用したブランディング*④事業の展開により、個性的な店舗づくりを行う。

- 様々な分野の専門家による店づくり講座の開催（接客・店舗演出・事業展開等）
- 路地ブランディング等によるイメージ戦略
- 商店街テナントミックス事業等の実施
- 様々な出店形態への支援

賑わいを生み出す新たな魅力の創出

- 他分野との連携

<学校等との連携>

- ・ 学校（小学校、中学校、高校、大学、専門学校等）のフィールドとして商店街を活用
- ・ 学生と事業者協働の商店街づくり

<商店街で学ぶ>

- ・ 商店街で朝活*⑥や専門店による講座等を実施

商店街 × 学校

※プロジェクト8に関連

<コラボ店舗・イベント等の展開>

- ・ 飲食店・雑貨店でのアート作品展示や音楽イベントの実施
- ・ 古着とカフェのコラボレーション*⑥店舗など、町田の強みを活かした店舗展開

<イベント連携>

- ・ 様々なイベントの実施及びそれらを来街者の増加に結び付けるための施策展開

商店街 × 文化

※プロジェクト9に関連

<チャレンジショップ等の設置>

- ・ 新たに店舗出店を起こそうとする「起業家」の育成・支援を目的とした施設の常設、及びその施設への期間限定での出店募集。

商店街 × 起業家

※プロジェクト8に関連

快適な歩行空間の実現

現状で実施している歩行者優先区間の維持に加え自動車の進入の制限等を行うことにより、歩きやすい空間をつくります。

- 駐車場施策（駐車場の隔地*②ルール化、民間駐車場を活用した隔地先駐車場の確保等）
- 荷捌き施策（路上荷捌きスペースの確保等）



／ みんなの声 ／

・客引き等が少なく、安全・安心に過ごしたい

誰にでもやさしい

安心・安全な商店街づくり

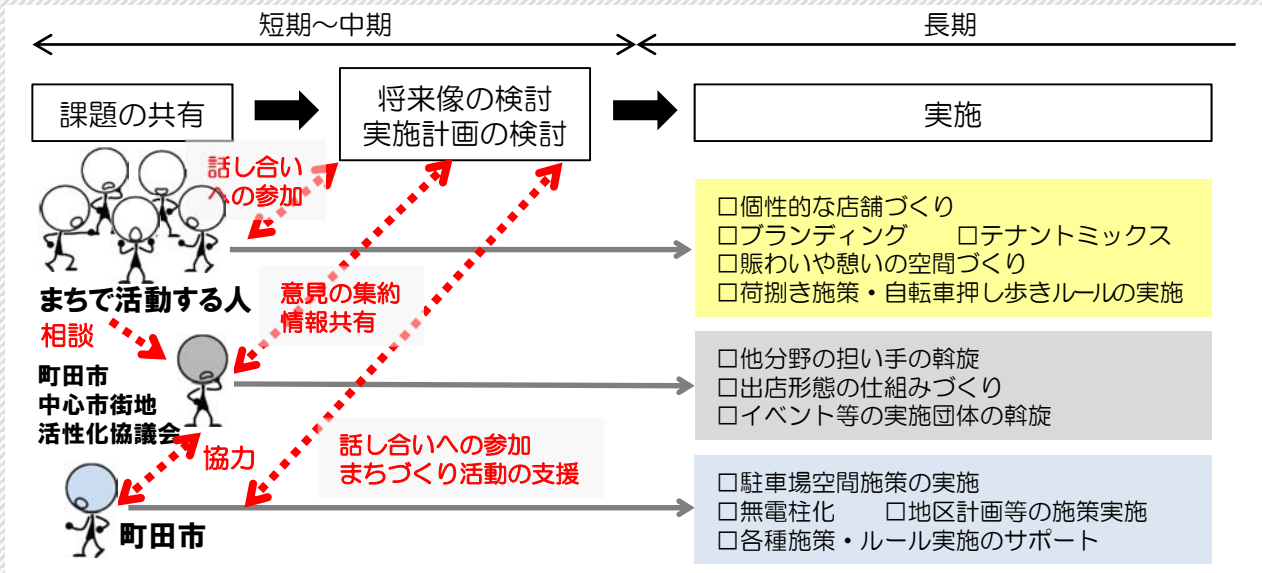
子どもからお年寄りまで、訪れる誰もが快適に過ごせる安全・安心でやさしい環境づくりを行う。

- 歩きやすい舗装
- 駐車場・駐輪場の案内
- 長時間の踏切待ちを楽しむ工夫
- ゆっくり過ごせるような駐車場運用の工夫
- 道路での悪質な販売・宣伝・勧誘の禁止徹底
- ポイ捨て禁止の徹底
- 自転車押し歩きルールの導入
- オムツ交換台、授乳室等の子育て支援設備等導入

プロジェクトの進め方

“プロジェクトの進め方”

- 町田市中心市街地活性化協議会が主体となり、町田市の協力を得てまちで活動する人とともに将来像の検討を行い共有する
- 各担い手が順次実現していく



“プロジェクトの担い手”

★：期待する担い手

【取り組み主体】	町田市中心市街地活性化協議会 町田市 ↳ 商店街全体をプロデュースできる人★
【関係者】	町田まちづくり公社 関係権利者 商業者 民間事業者 まちで活動する人★ (不動産業者 不動産所有者 学校 学生 住民 町田商工会議所 起業家 等)
【町田市関係部署】	経済観光部 都市づくり部 建設部 文化スポーツ振興部 生涯学習部

用語解説

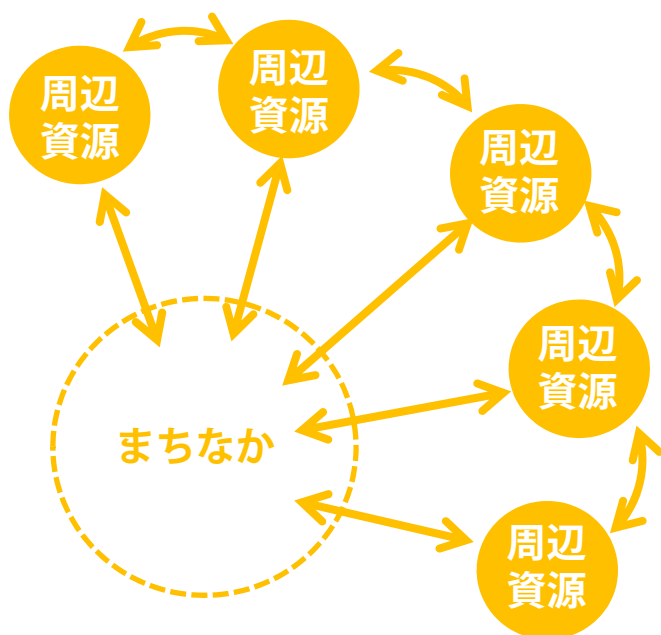
- *①セットバック：道路に接した敷地に建物を建築する場合、道路に面する場所から一定の距離をとって建築すること。
- *②駐車場の隔地：駐車場を店舗等の敷地から離れた場所に確保すること。
- *③テナントミックス：様々な業種業態の賃借店舗を組み合わせること。
- *④ブランディング：ここでは、地域独自の特色を、ブランドとして構築して価値を高めること。
- *⑤朝活：始業前の朝の時間を勉強や趣味などの活動にあてること。
- *⑥コラボレーション：複数の立場や人により協力・連携・共同して行われる作業のこと。

3

周辺資源をみがき まちの魅力として 活かすプロジェクト

中心市街地の魅力を高めるため、「まちの魅力として活かせる場所」（周辺資源）を発掘し、その整備や活用を行うとともに、アプローチ*①の充実を図ります。

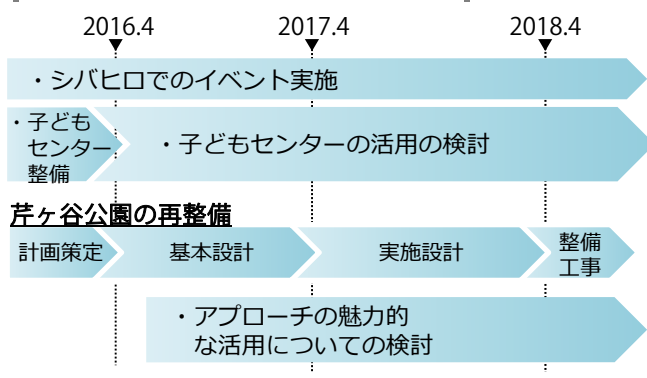
プロジェクトのイメージ



プロジェクトの対象範囲



プロジェクトの当面の主な取り組み



プロジェクトの効果

周辺資源の持つ魅力を活かす整備や様々なイベントの開催等により、周辺資源での楽しみが増える

周辺資源やそのアプローチで過ごす時間が増える

周辺資源に向かうアプローチや資源をつなぐアプローチが整備され、周辺に行きやすく、また歩きやすくなる

→ 目指すこと 02 まちに行く目的がたくさんある

→ 目指すこと 03 まちの魅力が向上し、ゆっくり過ごせる

→ 目指すこと 06 通りが快適で歩いて楽しい

みんなの声

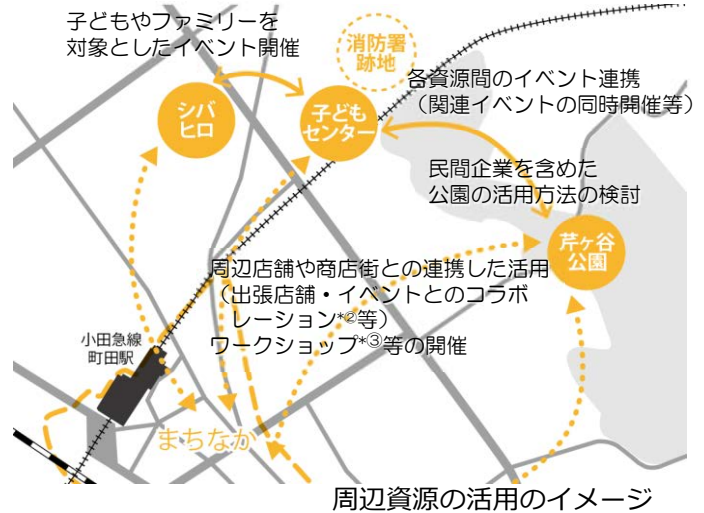
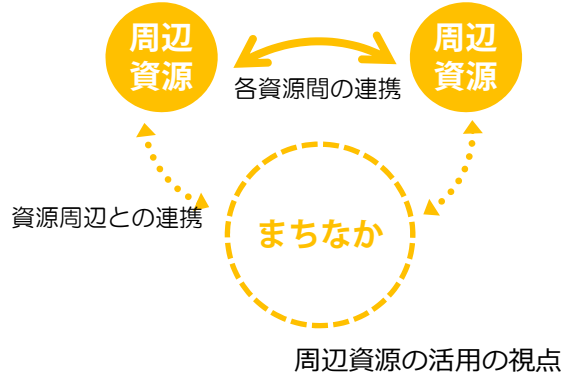
プロジェクトの取り組み

・もっと、子連れで楽しみたい

周辺資源のさらなる活用

中心市街地の魅力を高めるため、「まちの魅力として活かせる場所」（周辺資源）を発掘し、それらを見がき上げるための整備や活用を行います。また、周辺資源の活用に伴い、それらの付近にも視野を広げた活用を展開していきます。

ターゲット（世代・市内外）を意識した各周辺資源の活用



●シバヒロの活用



「まちの魅力を発信し、賑わいを創出する拠点」

「人々が憩い・交流するゆとりの空間」



シバヒロの活用方針 / 「町田市庁舎跡地活用基本構想」より

●子どもセンターの活用



「(ま)ちだで (あ)そぼう (ち)ゃれんじしよう！」

- ・子育て支援機能の拡充
- ・中高生の利用にも特化
- ・広域的な利用に対応
- ・利用者のニーズに対応したサービス機能

子どもセンターの活用方針 / 「(仮称) 町田地区子どもセンター基本計画」より

●芹ヶ谷公園の活用



「まちなかで 人と緑が会い ふれあう 芸術の杜」

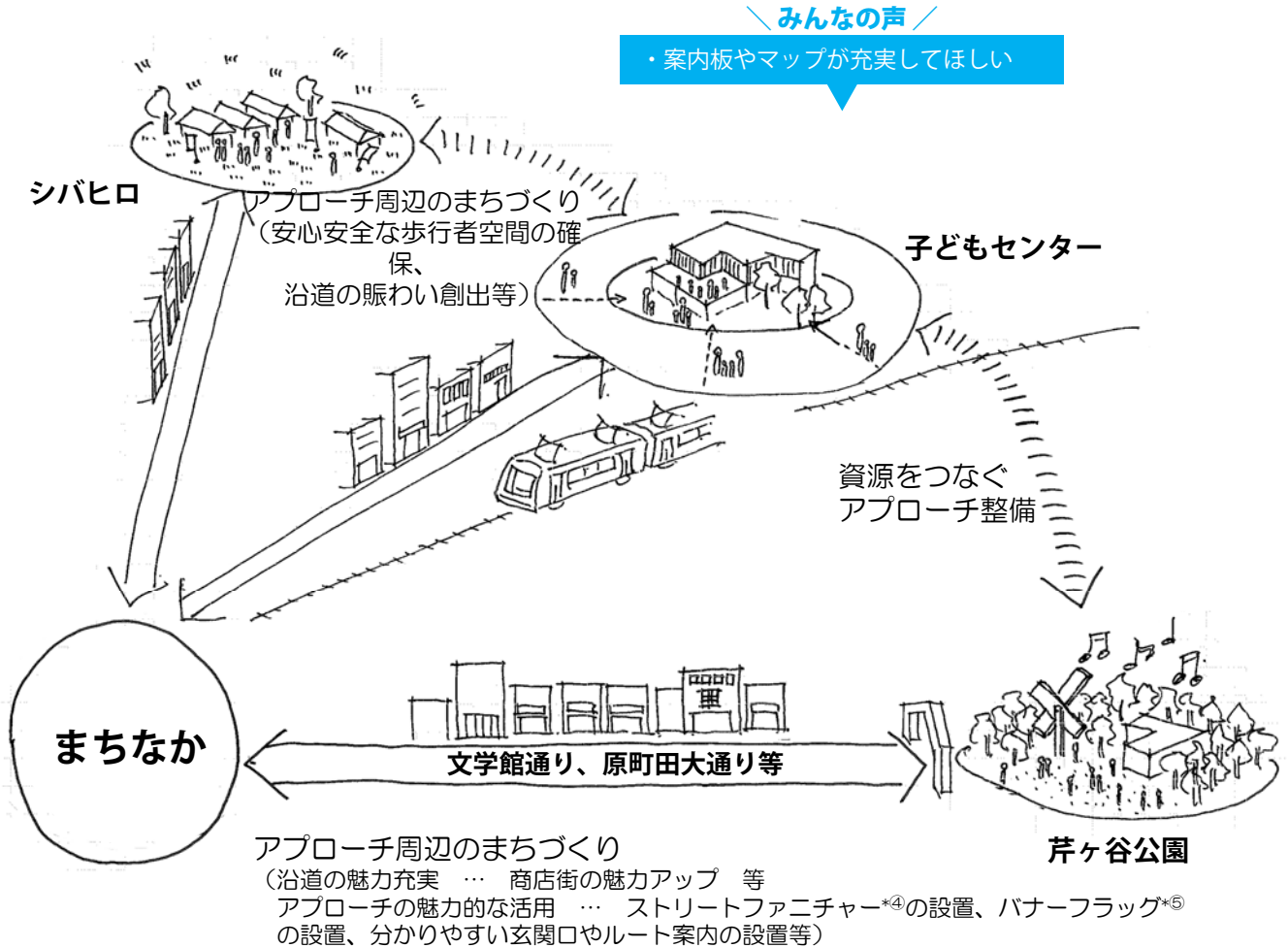
- ・明るく開放的な公園への再整備
- ・未利用地の活用 (芝生広場、カフェ、体験施設等)
- ・賑わい施設整備 (イベントステージ、大型複合遊具等)

芹ヶ谷公園の活用方針 / 「芹ヶ谷公園再整備計画」より

周辺資源へのアプローチ*①の充実

周辺資源の魅力を磨き、それらをつなぐ歩行者空間の整備や活用を行うことで、わかりやすく魅力的なアプローチの実現等を図ります。

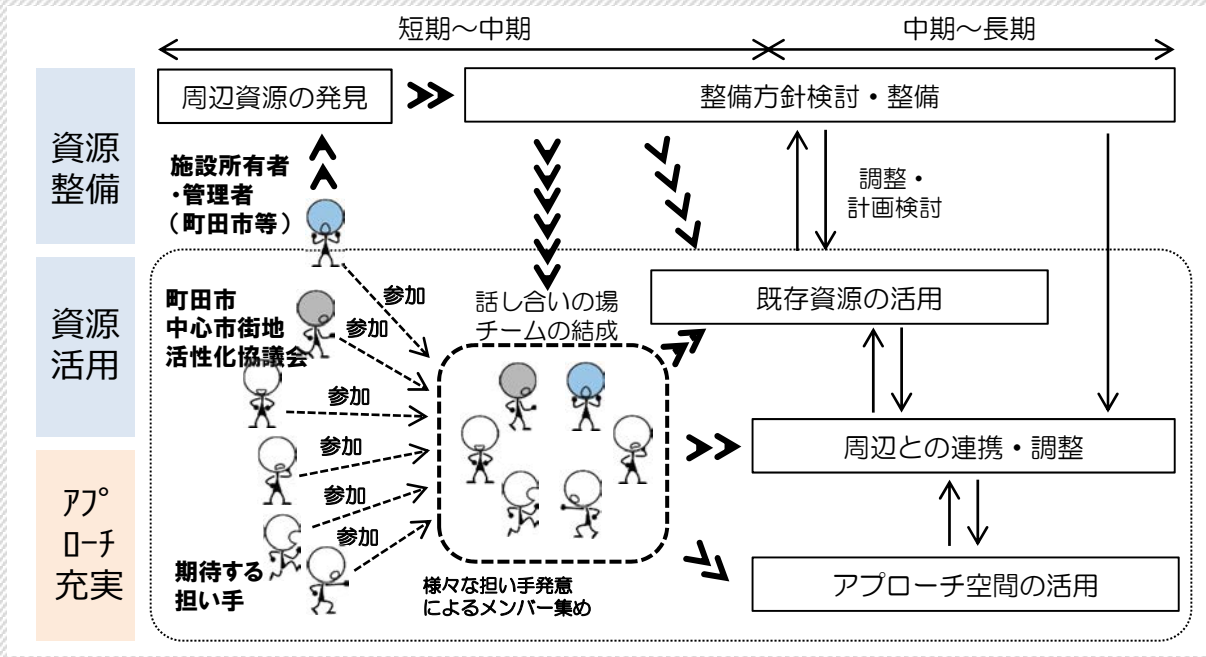
3 周辺資源をみがきまちの魅力として活かすプロジェクト



プロジェクトの進め方

“プロジェクトの進め方”

- 施設所有者・管理者（町田市等）が、施設の整備を行うとともに、関係者の話し合いを踏まえ、施設間や周辺との連携を図りながら活用を行っていく
- 町田市中心市街地活性化協議会等が施設やアプローチ*①の活用方法について話し合いを行う



“プロジェクトの担い手”

★：期待する担い手

- 【取り組み主体】 町田市 町田市観光コンベンション協会
町田市中心市街地活性化協議会 公共空間活用マネジメント組織★
- 【関係者】 住民★ 学生★ 民間事業者★ 活動団体★ 各分野専門団体★
- 【町田市関係部署】 都市づくり部 経済観光部 子ども生活部 建設部
文化スポーツ振興部

用語解説

- *①アプローチ：ここでは、目的の場所に向かう道のこと。
- *②コラボレーション：複数の立場や人により協力・連携・共同して行われる作業のこと。
- *③ワークショップ：ここでは、参加者自ら参加・体験して共同で学びあったり何かを生み出したりする場のこと。
- *④ストリートファニチャー：道路、広場などに設置される案内板、ベンチ、街路灯、ゴミ箱等。
- *⑤バナーフラッグ：街路灯などに設置するのぼり・旗などの掲示物。